



2015年3月期 第2四半期決算説明会

2014年11月5日
株式会社プロトコーポレーション (4298)

連結主要データ

発行済株式総数(百万株)		20.9
時価総額(億円)	※2014年9月末	334.8
1株当たり年間配当(円)	※2015年3月期予想	38.0
1株当たり当期純利益(円)	※2015年3月期予想	168.25
1株当たり純資産(円)	※2014年3月期実績	1,280.38
ROE(%)当期純利益ベース	※2014年3月期実績	10.5
ROA(%)経常利益ベース	※2014年3月期実績	12.7
自己資本比率(%)	※2014年3月期実績	59.6
潜在株式数		-
外国法人等の株式保有比率(%)	※2014年9月末	25.1

大株主(上位10名)

	(千株)
1) 株式会社夢現	6,807 (32.50%)
2) JPMCC Client Safekeeping Account	1,186 (5.66%)
3) 横山博一	840 (4.01%)
4) JP Morgan Chase Bank 385632	568 (2.71%)
5) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	509 (2.43%)
6) BBH for Fidelity Low-Priced Stock Fund(Principal All Sector Subportfolio)	496 (2.36%)
7) 株式会社プロトコーポレーション	494 (2.36%)
8) 横山順弘	404 (1.92%)
9) Clearstream Banking SA	384 (1.83%)
10) 齊藤実	340 (1.62%)

(2014年9月30日現在)

連結損益計算書 (1)



連結損益の状況

(単位:百万円)

	2013年4-9月期		2014年4-9月期				前期対比		計画対比	
	実績 (A)	売上比	計画 (B)	売上比	実績 (C)	売上比	(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
売上高	27,724	100.0%	26,821	100.0%	① 23,963	100.0%	△ 3,760	86.4%	△ 2,857	89.3%
売上原価	17,176	62.0%	16,040	59.8%	13,724	57.3%	△ 3,451	79.9%	△ 2,315	85.6%
売上総利益	10,547	38.0%	10,781	40.2%	10,239	42.7%	△ 308	97.1%	△ 541	95.0%
販売費及び一般管理費	8,090	29.2%	8,331	31.1%	7,646	31.9%	△ 444	94.5%	△ 684	91.8%
EBITDA	3,286	11.9%	3,356	12.5%	3,473	14.5%	186	105.7%	116	103.5%
営業利益	2,456	8.9%	2,450	9.1%	2,592	10.8%	135	105.5%	142	105.8%
経常利益	2,612	9.4%	2,485	9.3%	2,684	11.2%	71	102.8%	199	108.0%
四半期純利益	1,312	4.7%	1,445	5.4%	1,769	7.4%	457	134.8%	324	122.5%

* EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

* 2014年4-9月期の計画値は、2014年5月12日公表の数値であります。

2014年9月12日に公表した上期業績予想の修正値 売上高:24,037百万円、営業利益:2,450百万円、経常利益:2,541百万円、四半期純利益:1,656百万円

販売費及び一般管理費の状況

(単位:百万円)

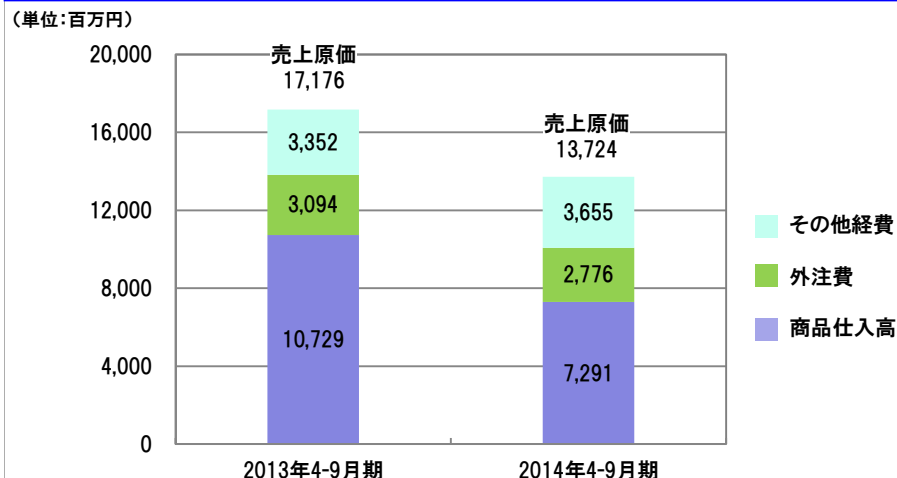
	2013年4-9月期		2014年4-9月期				前期対比		計画対比	
	実績 (A)	売上比	計画 (B)	売上比	実績 (C)	売上比	(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
販売費及び一般管理費	8,090	29.2%	8,331	31.1%	7,646	31.9%	△ 444	94.5%	△ 684	91.8%
人件費	3,538	12.8%	3,763	14.0%	3,534	14.7%	△ 4	99.9%	△ 229	93.9%
広告宣伝費関連	1,390	5.0%	1,391	5.2%	1,234	5.2%	△ 155	88.8%	△ 157	88.7%
その他経費	3,162	11.4%	3,175	11.8%	2,878	12.0%	△ 284	91.0%	△ 296	90.6%
社員数	1,304	-	1,406	-	1,325	-	21	101.6%	△ 81	94.2%

Point ① 売上高 主に自動車関連情報において、㈱キングスオートの高額車両の輸出台数が減少したことから、同社の売上高は大幅な減収となりました。また、消費税増税の反動減の影響により、輸入タイヤ販売を手掛ける㈱オートウェイにおいてタイヤ販売数量が減少したことに加え、㈱バイクプロスにおけるバイクパーツのEC販売が前年実績を下回ったことなどから、前年同期対比はグループ全体で3,760百万円の減収(前年同期対比86.4%)となりました。

また、計画対比におきましても、主に㈱オートウェイのタイヤ販売数量が計画を下回ったことなどから、グループ全体で89.3%となりました。

2014年4-9月期 業績概況

売上原価の推移



売上原価

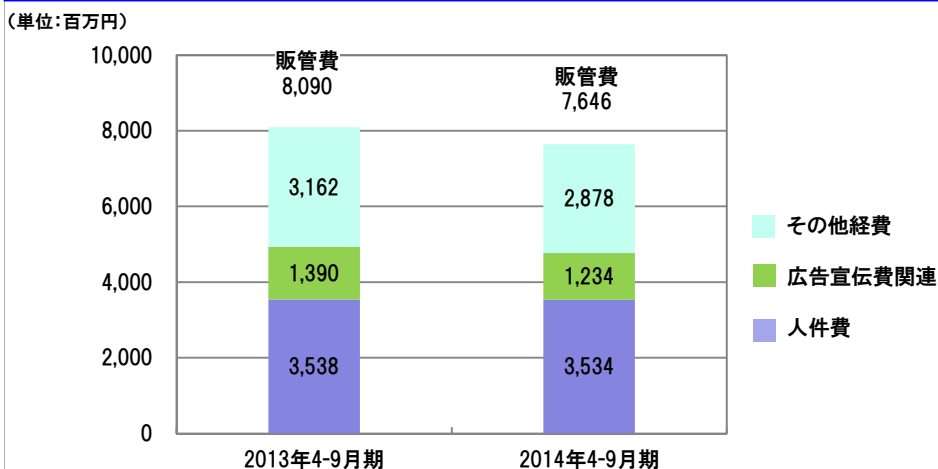
商品仕入高については、主に㈱キングスオート(2,165百万円減)及び㈱オートウェイ(727百万円減)における商品仕入高が減少した結果、グループ全体で3,437百万円の減少(前年同期対比68.0%)となりました。

外注費については、主に㈱プロトコーポレーションにおけるインターネット広告代理事業(2014年3月末事業撤退)の外注費が減少したことに伴い、グループ全体で317百万円の減少(同89.7%)となりました。

その他経費については、主に㈱プロトメディカルケアにおける事業拡大に伴う社員数の増加により、グループ全体で304百万円の増加(同109.1%)となりました。この結果、売上原価については前年同期対比79.9%(原価率:4.7ポイント低下)となりました。

また、計画対比では、主に㈱オートウェイのタイヤ販売数量が計画を下回ったことなどから、グループ全体で85.6%となりました。

販売費及び一般管理費の推移



販売費及び一般管理費

人件費については、主に㈱プロトコーポレーションにおいて不採算事業からの撤退による社員数の減少などに伴い、グループ全体で4百万円の減少(前年同期対比99.9%)となりました。

広告宣伝費関連については、主に㈱オートウェイにおいてWEBプロモーションの効率化を図ったことなどから、グループ全体で155百万円の減少(同88.8%)となりました。

その他経費については、主に㈱オートウェイにおいて、売上高の減少に伴い、業務委託費、支払手数料等が減少したことなどから、グループ全体で284百万円の減少(同91.0%)となりました。

この結果、販売費及び一般管理費については、前年同期対比94.5%(販売管理费率:2.7ポイント上昇)となりました。また、計画対比では、㈱オートウェイの販管費に加え、㈱プロトコーポレーションにおける人件費が計画を下回ったことから、グループ全体で91.8%となりました。

セグメント別事業概況 (1)



売上高

(単位:百万円)

	2013年4-9月期		2014年4-9月期			
	実績 (A)	構成比	計画 (B)	構成比	実績 (C)	構成比
自動車関連情報	25,404	91.6%	24,631	91.8%	21,804	91.0%
情報登録・掲載料	10,230	36.9%	10,539	39.3%	10,330	43.1%
情報提供料	15,173	54.7%	14,092	52.5%	11,473	47.9%
生活関連情報	1,771	6.4%	1,704	6.4%	1,690	7.1%
不動産	84	0.3%	72	0.3%	82	0.3%
その他	464	1.7%	412	1.5%	386	1.6%
合計	27,724	100.0%	26,821	100.0%	23,963	100.0%

前期対比		計画対比	
(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
△ 3,600	85.8%	△ 2,827	88.5%
100	101.0%	△ 208	98.0%
△ 3,700	75.6%	△ 2,618	81.4%
△ 80	95.4%	△ 14	99.2%
△ 1	97.7%	10	114.0%
△ 77	83.3%	△ 25	93.7%
△ 3,760	86.4%	△ 2,857	89.3%

- 1) 情報登録・掲載料 情報誌・ネットメディアへの広告掲載等
- 2) 情報提供料 情報誌販売、コンテンツ提供、中古車輸出支援サービス、EC(輸入タイヤ・バイクパーツ販売)等
- 3) 2014年4-9月期の計画値は、2014年5月12日公表の数値であります。

営業利益

(単位:百万円)

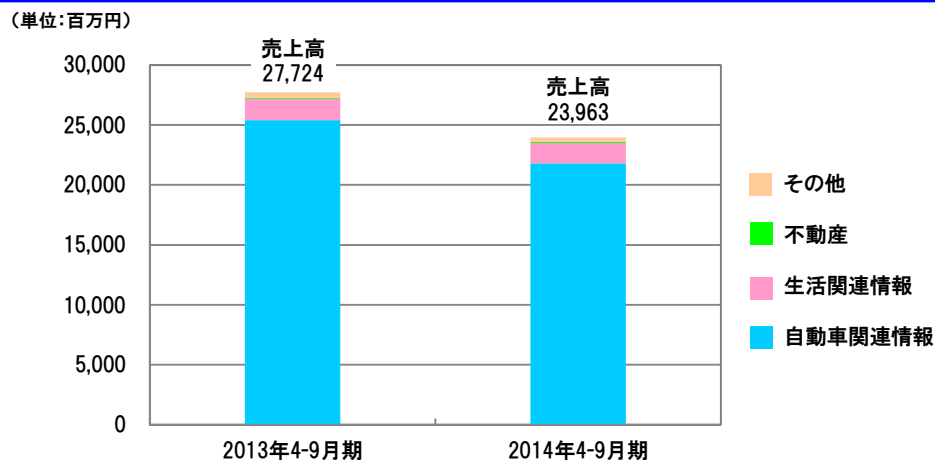
	2013年4-9月期		2014年4-9月期			
	実績 (A)	利益率	計画 (B)	利益率	実績 (C)	利益率
自動車関連情報	3,225	12.7%	3,224	13.1%	3,270	15.0%
生活関連情報	119	6.7%	144	8.5%	186	11.0%
不動産	46	54.8%	15	21.5%	50	60.7%
その他	△ 98	-	0	0.1%	△ 47	-
管理部門	△ 836	-	△ 935	-	△ 866	-
合計	2,456	8.9%	2,450	9.1%	2,592	10.8%

前期対比		計画対比	
(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
44	101.4%	45	101.4%
66	155.8%	41	129.1%
3	108.2%	34	321.9%
50	-	△ 48	-
△ 29	-	69	-
135	105.5%	142	105.8%

セグメント別事業概況 (2)



セグメント別 売上高の推移



自動車関連情報

上期における中古車販売店の経営環境については、消費税増税の反動減の影響により、厳しい状況で推移しました。情報登録・掲載料については、「MOTOR GATE」の拡販を推進したことなどにより、100百万円の増収(前年同期対比101.0%)となりました。

また、情報提供料については、(株)キングスオートにおいて高額車両の中古車輸出台数が減少し、2,278百万円の減収(同54.8%)となったことに加え、消費税増税の反動減の影響により、(株)オートウェイのEC売上(輸入タイヤ販売)が1,010百万円の減収(同82.7%)となったことなどから、情報提供料の売上高は3,700百万円の減収(同75.6%)となりました。

営業利益については、主に(株)プロトコーポレーションにおいて、新規事業である「GooPLUS」「GooPit」への先行投資が発生したものの、人件費および広告宣伝費等が前年実績を下回ったことから、44百万円の増益(同101.4%)となりました。

生活関連情報

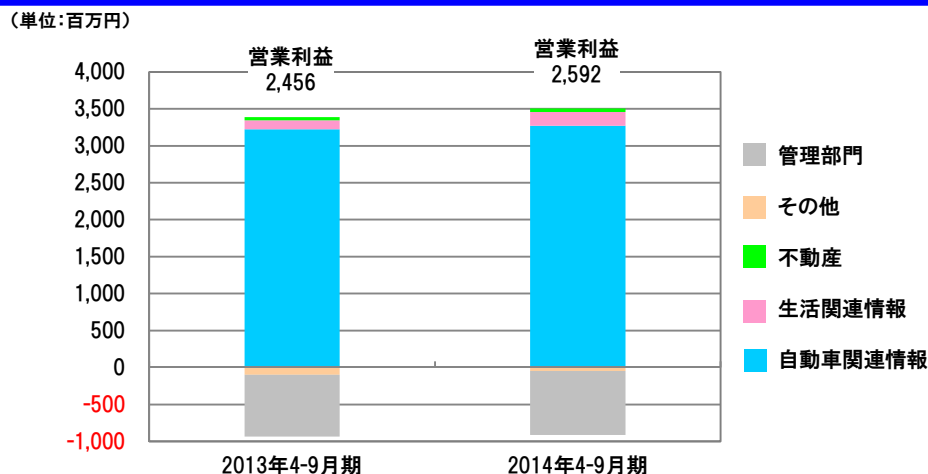
(株)プロトメディカルケアについては、医療・介護・福祉分野における広告事業ならびに福祉用具のレンタルサービス事業等が堅調に推移し、増収増益となりました。しかしながら、(株)プロトコーポレーションにおいて、2014年3月に撤退したインターネット広告代理事業の影響により、379百万円の減収となったことなどから、生活関連情報全体の売上高は80百万円の減収(前年同期対比95.4%)となりました。

一方、営業利益については、(株)プロトメディカルケアが堅調に推移したことに加え、不採算事業からの撤退により、66百万円の増益(同155.8%)となりました。

その他

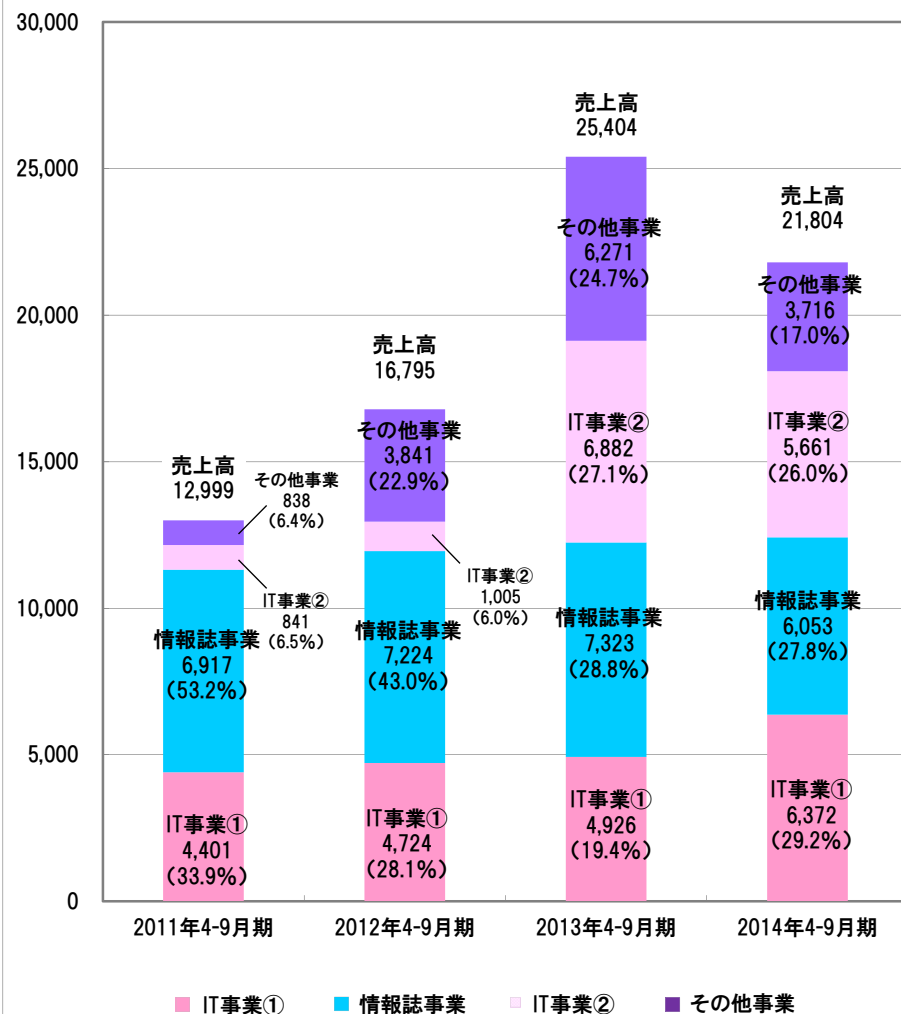
主に(株)プロトコーポレーションにおいて、2013年12月に撤退したソーシャルゲーム事業の影響により、売上高は77百万円の減収(前年同期対比83.3%)となりました。また、営業利益については、同じくソーシャルゲーム事業からの撤退などにより、47百万円の損失(前年同期は98百万円の損失)となりました。

セグメント別 営業利益の推移



自動車関連情報：商品区別売上高の推移

(単位：百万円) ※カッコ内は構成比



情報誌事業

主に当期より一部のエリアにおいて、Gooシリーズの料金体系を変更(情報誌事業からIT事業①へのシフト)したことなどから、情報誌事業全体の売上高は1,269百万円の減収(前年同期対比82.7%)となりました。

IT事業① (MOTOR GATE利用料、BtoBデータサービス等)

前述のとおり、Gooシリーズの料金体系を変更したことに加え、「MOTOR GATE」の拡販による取引社数の増加、㈱プロトリオスにおける業務支援システムの拡販などにより、IT事業①の売上高は1,445百万円の増収(前年同期対比129.3%)となりました。

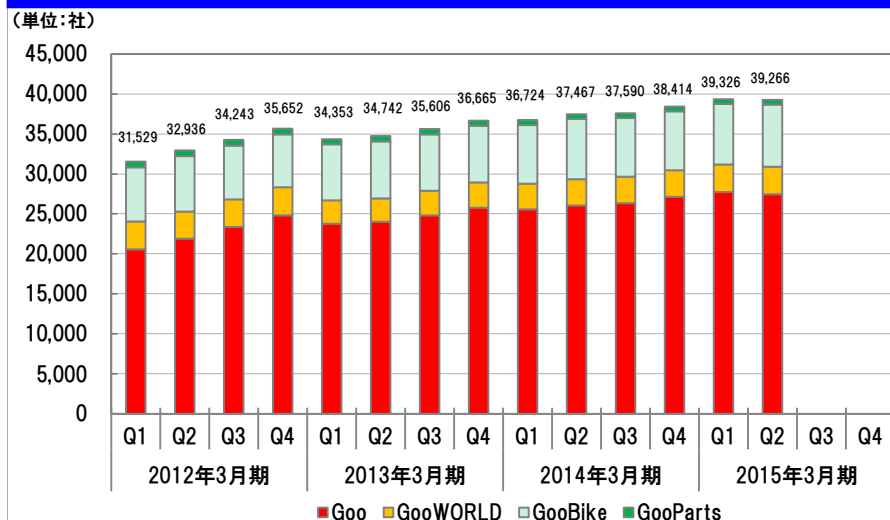
IT事業② (EC)

主に輸入タイヤ販売を手掛ける㈱オートウェイにおいて、消費税増税の反動減の影響により、法人向けのタイヤ販売数量が前年実績を下回ったことなどから、IT事業②の売上高は1,221百万円の減収(前年同期対比82.3%)となりました。

その他事業 (Goo鑑定・中古車輸出支援サービス等)

主に㈱キングスオートの中古車輸出事業において、高額車両の輸出台数が減少したことに加え、㈱プロトコーポレーションにおいて、Goo買取事業から撤退したことなどから、その他事業の売上高は2,554百万円の減収(前年同期対比59.3%)となりました。

Gooシリーズ 四半期累計取引社数の推移



Gooシリーズ四半期累計取引社数の推移

Gooシリーズ全体の当期累計取引社数(4-9月累計)は前年同期対比105.9%と増加いたしました。

また、当期累計期間(4-9月)における1ヶ月あたりの平均取引単価については、小規模販売店の増加等が影響した結果、前年同期対比96.1%となりました。

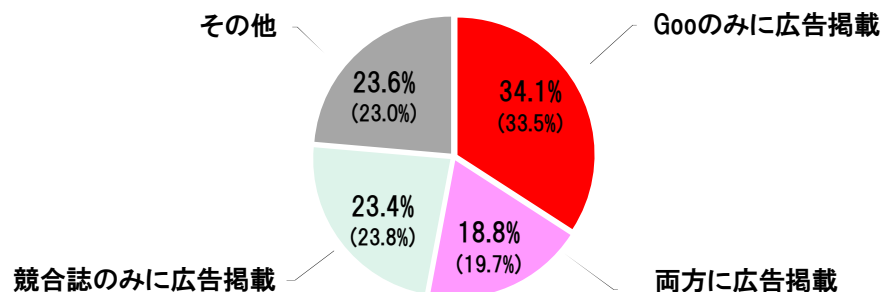
マーケットシェアの状況(競合比較)

マーケットシェアにおいては、前年同月に比べ、Gooのみに掲載いただく会社が0.6ポイント増加、両方に掲載いただく会社が0.9ポイント減少し、全体で0.3ポイント減少しました。また、競合誌のみに広告掲載している会社については0.4ポイント減少しました。

Goo鑑定の状況

消費税増税の反動減による影響があったことなどから、Goo鑑定車の当期累計鑑定台数(4-9月累計)は142,860台となり、前年同期対比99.2%となりました。なお、前年9月については、一部エリアにおいて無料鑑定キャンペーンを実施しております。

マーケットシェアの状況(競合比較)



* 競合誌：カーセンサー（但し、四国はMjマガジン、沖縄はクロスロード）

* 数値は全エリアを対象として集計しております。

* 取引社数の集計基準：情報誌に広告を掲載した中古車販売店数

* ()内の数値については、2013年9月時点のシェアとなります。

(2014年9月時点・当社調べ)

GooPLUSの状況

GooPLUSについては、2014年3月のテストマーケティング、2014年5月の東海エリアでのサービス展開を経て、2014年8月より全国展開を開始いたしました。この結果、GooPLUS車の当期累計台数(4-9月累計)は1,335台となりました。

GooPitの状況

GooPitについては、2013年12月より東海エリアにてサービスを開始していましたが、2014年7月より首都圏・関西エリアにおける営業活動を開始し、2015年のGooPit全国版リリースに向けて、準備を進めております。

連結貸借対照表



(単位:百万円)

	2014年3月期 (期末)		2015年3月期 (第2四半期末)		増減 (B) - (A)
	(A)	構成比	(B)	構成比	
流動資産	22,815	52.0%	22,617	52.5%	① △ 197
固定資産	21,091	48.0%	20,426	47.5%	② △ 665
流動負債	13,174	30.0%	11,914	27.7%	③ △ 1,260
固定負債	4,554	10.4%	3,820	8.9%	④ △ 734
純資産	26,177	59.6%	27,308	63.4%	1,130
総資産	43,907	-	43,043	-	△ 863

Point ① 流動資産の減少 (2014年3月期 期末対比 197百万円減)

主に借入金の返済を始め、未払法人税等の支払いが発生したものの、当該支出を上回る営業キャッシュ・フローを獲得したことで、現金及び預金が増加しました。一方、㈱オートウェイの商品在庫の適正化によって、たな卸資産が減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較し197百万円減少しております。

Point ② 固定資産の減少 (2014年3月期 期末対比 665百万円減)

主に減価償却費及びのれん償却額の計上などにより、前連結会計年度末と比較して665百万円減少しております。

Point ③ 流動負債の減少 (2014年3月期 期末対比 1,260百万円減)

主に法人税等の納付による未払法人税等の減少と、㈱オートウェイ及び㈱キングスオートの短期借入金等の返済などにより、前連結会計年度末と比較して1,260百万円減少しております。

Point ④ 固定負債の減少 (2014年3月期 期末対比 734百万円減)

㈱オートウェイ及び㈱キングスオートの長期借入金の返済などにより、前連結会計年度末と比較して734百万円減少しております。

連結キャッシュ・フロー計算書



(単位:百万円)

	2013年4-9月期	2014年4-9月期	増減	(参考) 2014年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	939	① 3,887	2,948	4,235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,900	② △ 294	4,606	△ 5,294
財務活動によるキャッシュ・フロー	111	③ △ 2,732	△ 2,844	△ 2,720
現金及び現金同等物の期末残高	10,971	11,976	1,004	11,097
投資額(有形・無形固定資産*)	4,842	334	△ 4,508	5,715
減価償却費(有形・無形固定資産)	373	424	50	819
のれん償却額	456	456	0	928

* 投資額には、有形・無形固定資産取得額、及びのれんを含みます。

Point ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益が2,915百万円、減価償却費・のれん償却額などの支出を伴わない費用が881百万円、㈱オートウェイ及び㈱キングスオートの在庫適正化に伴うたな卸資産の減少668百万円、売上債権の減少518百万円が発生した一方、法人税等の支払による支出が1,583百万円発生したことなどから、3,887百万円の収入となりました。

Point ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

事業の譲り受けによる支出が55百万円、固定資産の取得による支出が252百万円発生したことなどから、294百万円の支出となりました。

Point ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期・長期借入金の減少が2,349百万円、当社において前期期末配当金の支払が383百万円発生したことにより、2,732百万円の支出となりました。

中長期事業戦略

＜市場環境の変化＞

- ・乗り換えサイクルの長期化
(平均使用年数・平均車齢の長期化)
- ・中古車のタマ不足
(新車販売台数減少、輸出台数増加)
- ・可処分所得の減少
- ・若年層のクルマ離れ
(クルマに関する知識・関心のないユーザーの増加)

＜ユーザーニーズの変化＞

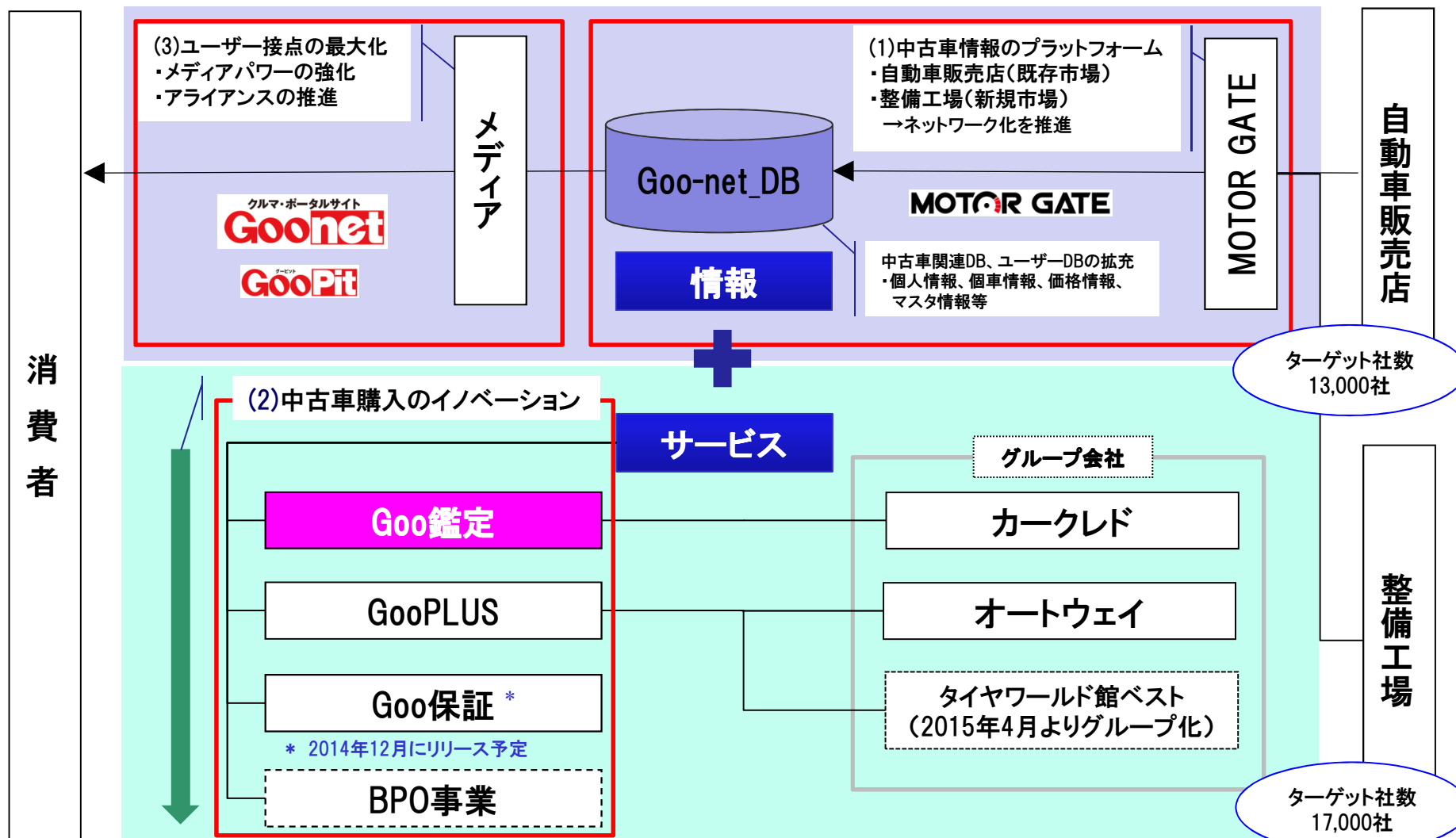


中古車買うなら**GooPLUS(Goo鑑定車)**
中古車買ったなら**GooPit**



* 2014年5月13日発表の決算説明会資料より抜粋

自動車関連情報(四輪) 中長期事業ビジョン(1)



中古車販売店の中古車在庫情報をユーザーに提供する広告モデル型のビジネスと、中古車の価値向上に寄与するサービスの融合により、小売成約台数シェアの過半数獲得を目指す

1

中古車情報のプラットフォーム

2018年3月期目標:MOTOR GATE取引社数30,000社を実現し、取引先のネットワーク化を実現する

2

中古車購入のイノベーション

中古車購入時・購入後の不安要素を解消する商品・サービスを提供する

3

ユーザー接点の最大化

メディアパワーの強化とアライアンスの推進により、Gooブランドを強化する

■ カーといえばGoo 「カーライフをトータルサポートする仕組みを構築する」



* 2014年12月にリリース予定

■ 「バイクライフをトータルサポートする仕組みを構築する」



GooBike鑑定(鑑定証付き中古二輪車)



GooBike鑑定の概要と図解 (一部)



車両状態情報の開示

こんな方にオススメ! (中古車を検討中のAさん)

バイクの品質にこだわりたい!
 整備箇所をしっかりと知りたい!
 チェックの行き届いたバイクが欲しい!

2015年3月期 連結業績予想

2015年3月期 連結業績予想



■ 連結業績予想

(単位:百万円)

	2014年3月期		2015年3月期				前期対比		期初計画対比	
	実績 (A)	売上比	期初計画 (B)	売上比	修正計画 (C)	売上比	(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
売上高	54,761	100.0%	56,940	100.0%	① 52,600	100.0%	△ 2,161	96.1%	△ 4,340	92.4%
売上原価	33,514	61.2%	34,386	60.4%	30,862	58.7%	△ 2,652	92.1%	△ 3,523	89.8%
売上総利益	21,246	38.8%	22,554	39.6%	21,737	41.3%	491	102.3%	△ 816	96.4%
販売費及び一般管理費	16,510	30.1%	17,204	30.2%	② 16,387	31.2%	△ 122	99.3%	△ 816	95.3%
営業利益	4,735	8.6%	5,350	9.4%	5,350	10.2%	614	113.0%	0	100.0%
経常利益	5,009	9.1%	5,430	9.5%	5,500	10.5%	490	109.8%	70	101.3%
当期純利益	2,627	4.8%	3,197	5.6%	3,440	6.5%	812	130.9%	243	107.6%
1株当たり当期純利益(円)	128.39	-	156.37	-	168.25	-	39.86	130.9%	11.88	107.6%

(単位:百万円)

	2014年3月期		2015年3月期				前期対比		期初計画対比	
	実績 (A)	売上比	期初計画 (B)	売上比	修正計画 (C)	売上比	(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
販売費及び一般管理費	16,510	30.1%	17,204	30.2%	16,387	31.2%	△ 122	99.3%	△ 816	95.3%
人件費	7,086	12.9%	7,590	13.3%	7,295	13.9%	209	103.0%	△ 295	96.1%
広告宣伝費関連	3,124	5.7%	3,250	5.7%	3,130	6.0%	6	100.2%	△ 119	96.3%
その他経費	6,299	11.5%	6,362	11.2%	5,960	11.3%	△ 338	94.6%	△ 402	93.7%

Point ① 売上高(期初計画との主な相違点)

主に㈱オートウェイおよび㈱キングスオートの売上高について、上期実績および市場環境等を踏まえ、下方修正しております。

Point ② 販売費及び一般管理費(期初計画との主な相違点)

主に㈱プロトコーポレーションにおいて、中古車購入の需要喚起を目的としたプロモーション費用を追加計上しております。また、㈱オートウェイにおいて、広告宣伝費およびその他経費(支払手数料・業務委託費等)につき、見直しております。

2015年3月期 セグメント別業績予想 (1)



■ 売上高

(単位:百万円)

	2014年3月期		2015年3月期			
	実績 (A)	構成比	期初計画 (B)	構成比	修正計画 (C)	構成比
自動車関連情報	50,138	91.6%	52,114	91.5%	47,761	90.8%
情報登録・掲載料	20,744	37.9%	21,822	38.3%	① 21,563	41.0%
情報提供料	29,394	53.7%	30,292	53.2%	② 26,198	49.8%
生活関連情報	3,541	6.5%	3,665	6.4%	③ 3,640	6.9%
不動産	167	0.3%	144	0.3%	172	0.3%
その他	913	1.7%	1,014	1.8%	④ 1,025	1.9%
合計	54,761	100.0%	56,940	100.0%	52,600	100.0%

前期対比		期初計画対比	
(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
△ 2,376	95.3%	△ 4,352	91.6%
818	103.9%	△ 258	98.8%
△ 3,195	89.1%	△ 4,093	86.5%
99	102.8%	△ 25	99.3%
4	102.7%	27	119.0%
112	112.3%	10	101.0%
△ 2,161	96.1%	△ 4,340	92.4%

- 1) 情報登録・掲載料 情報誌・ネットメディアへの広告掲載等
 2) 情報提供料 情報誌販売、コンテンツ提供、中古車輸出支援サービス、EC(輸入タイヤ・バイクパーツ販売)等

■ 営業利益

(単位:百万円)

	2014年3月期		2015年3月期			
	実績 (A)	利益率	期初計画 (B)	利益率	修正計画 (C)	利益率
自動車関連情報	6,217	12.4%	6,756	13.0%	⑤ 6,612	13.8%
生活関連情報	248	7.0%	409	11.2%	⑥ 440	12.1%
不動産	69	41.6%	62	43.2%	97	56.4%
その他	△ 140	-	△ 48	-	⑦ △ 58	-
管理部門	△ 1,659	-	△ 1,830	-	⑧ △ 1,741	-
合計	4,735	8.6%	5,350	9.4%	5,350	10.2%

前期対比		期初計画対比	
(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
395	106.4%	△ 143	97.9%
191	177.0%	30	107.5%
27	139.1%	34	155.1%
81	-	△ 10	-
△ 81	-	89	-
614	113.0%	0	100.0%

■ 期初計画との主な相違点

【自動車関連情報】① ② ⑤

情報登録・掲載料については、主にPROTO MALAYSIA Sdn. Bhd.の広告売上高について、上期実績を踏まえ、下方修正しております。情報提供料については、主に(株)キングスオートおよび(株)オートウェイの売上高について、上期実績および市場環境を踏まえ、下方修正しております。また、(株)プロトコーポレーションにおいて、売上高を上方修正しております。営業利益については、上記要因に加え、主に(株)プロトコーポレーションにおいて、中古車購入の需要喚起を目的としたプロモーション費用を追加計上しております。

【生活関連情報】③ ⑥

主に(株)プロトデータセンターにおける不動産情報誌事業の売上高・営業利益について、上期実績を踏まえ、下方修正しております。

【その他】④ ⑦

主に(株)プロトリオスが(株)アイソリューションズを子会社化(2014年10月1日付)したことにより、売上高・営業利益を見直しております。また、(株)プロトデータセンターのBPO事業における費用を見直した結果、営業利益を上方修正しております。

【管理部門】⑧

(株)プロトコーポレーションにおいて組織体制の一部変更に伴い費用を見直しております。

■ 配当予想

2015年3月期の1株当たり年間配当金は、第2四半期末に19円、期末において19円とする予定であります。

■ 自己株式の取得に係る事項について

■ 自己株式の取得を行う理由

資本効率の向上および経営環境に応じた柔軟な資本政策の実行を可能とするため

■ 取得する株式の種類

普通株式

■ 取得する株式の総数

15万株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に占める割合 0.73%)

■ 株式の取得価額の総額

2億円(上限)

■ 取得する期間

2014年11月4日～2014年12月22日

参考:EBITDA・調整後当期純利益推移



(単位:百万円)

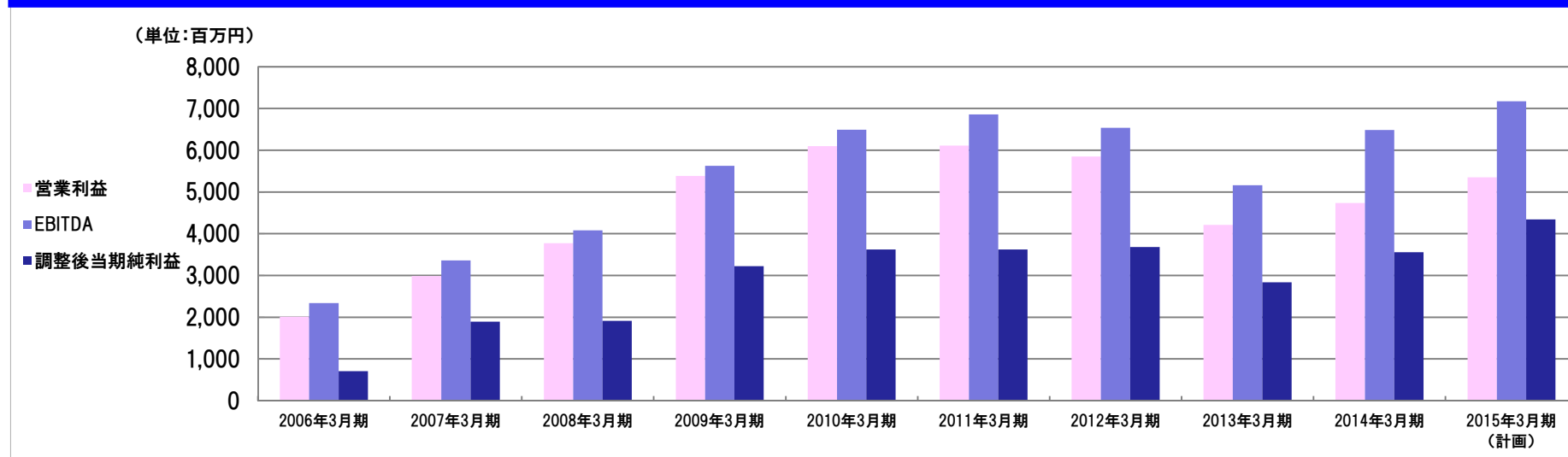
	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期 (計画)*3
売上高	19,952	21,238	22,893	23,657	25,682	28,779	30,582	38,287	54,761	52,600
営業利益	2,010	2,988	3,771	5,384	6,098	6,111	5,846	4,209	4,735	5,350
当期純利益	598	1,766	1,838	3,187	3,529	3,197	3,275	2,290	2,627	3,440
EBITDA*1	2,337	3,360	4,078	5,628	6,490	6,856	6,540	5,161	6,483	7,171
調整後当期純利益*2	707	1,890	1,915	3,223	3,621	3,620	3,680	2,836	3,555	4,345
減価償却費	217	247	230	207	299	322	288	404	819	916
のれん償却額	109	124	77	36	91	422	405	546	928	905

*1 EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

*2 調整後当期純利益は、「当期純利益+のれん償却額」にて算出しております。

*3 2015年3月期の業績予想は、2014年10月31日公表の数値であります。

営業利益・EBITDA・調整後当期純利益の年次推移



参考:2015年3月期 四半期連結業績予想



(単位:百万円)

	2013年3月期(実績)					2014年3月期(実績)					2015年3月期(計画)				
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計
売上高	9,599	9,600	9,420	9,667	38,287	13,808	13,915	13,796	13,240	54,761	12,200	11,763	13,883	14,752	52,600
売上原価	5,007	5,093	5,029	5,505	20,636	8,459	8,717	8,468	7,870	33,514	7,087	6,636	8,314	8,823	30,862
売上総利益	4,591	4,507	4,390	4,161	17,650	5,349	5,198	5,328	5,370	21,246	5,112	5,126	5,568	5,929	21,737
販売費及び一般管理費	3,006	3,124	3,171	4,138	13,440	4,022	4,068	4,163	4,256	16,510	3,885	3,791	4,234	4,506	16,387
営業利益	1,585	1,382	1,218	23	4,209	1,326	1,130	1,165	1,114	4,735	1,257	1,335	1,334	1,423	5,350
経常利益	1,602	1,450	1,263	54	4,371	1,398	1,213	1,266	1,131	5,009	1,305	1,378	1,357	1,458	5,500
四半期(当期)純利益	1,082	657	670	△ 120	2,290	761	551	712	601	2,627	973	796	787	882	3,440

※ 売上原価は、返品調整引当金戻入額及び繰入額を加味した数値であります。

	2013年3月期(実績)					2014年3月期(実績)					2015年3月期(計画)				
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計
売上高	9,599	9,600	9,420	9,667	38,287	13,808	13,915	13,796	13,240	54,761	12,200	11,763	13,883	14,752	52,600
自動車関連情報	8,538	8,256	8,214	8,677	33,687	12,723	12,680	12,618	12,115	50,138	11,145	10,659	12,629	13,327	47,761
情報登録・掲載料	4,934	5,082	5,324	5,072	20,413	5,038	5,192	5,261	5,251	20,744	5,025	5,305	5,482	5,750	21,563
情報提供料	3,604	3,174	2,890	3,605	13,273	7,685	7,488	7,356	6,864	29,394	6,119	5,354	7,147	7,577	26,198
生活関連情報	925	1,175	980	755	3,837	828	942	896	873	3,541	823	866	913	1,036	3,640
不動産	42	40	41	39	163	41	43	43	39	167	40	41	44	45	172
その他	91	127	183	195	597	215	248	237	211	913	191	195	295	343	1,025
営業利益	1,585	1,382	1,218	23	4,209	1,326	1,130	1,165	1,114	4,735	1,257	1,335	1,334	1,423	5,350
自動車関連情報	1,932	1,787	1,719	476	5,916	1,752	1,473	1,559	1,432	6,217	1,619	1,650	1,667	1,675	6,612
生活関連情報	52	58	32	△ 12	131	37	81	52	76	248	73	112	102	151	440
不動産	24	21	23	16	85	23	22	21	2	69	22	27	22	24	97
その他	△ 55	△ 73	△ 121	△ 73	△ 323	△ 58	△ 40	△ 45	2	△ 140	△ 39	△ 8	△ 24	13	△ 58
管理部門	△ 369	△ 411	△ 435	△ 383	△ 1,599	△ 428	△ 407	△ 424	△ 398	△ 1,659	△ 419	△ 446	△ 433	△ 441	△ 1,741

* 2015年3月期の第1Q、第2Qの数値は実績となっており、第3Q、第4Qおよび通期の数値は2014年10月31日公表の計画数値であります。

補足資料

会社概要



社名
創業
設立
資本金
発行済株式総数
本社
支社
事業年度末
社員数
上場取引所
連結子会社

株式会社プロトコーポレーション
1977年10月1日
1979年6月1日
1,824,620,000円（2014年9月30日現在）
20,940,000株（2014年9月30日現在）
〒460-0006 名古屋市中区葵一丁目23番14号
〒113-0033 東京都文京区本郷二丁目22番2号
札幌、仙台、高崎、長野、浜松、名古屋、金沢、大阪、広島、松山、福岡、熊本
（全国57拠点）
3月31日
連結：1,325名（2014年9月30日現在）
単体：677名（2014年9月30日現在）
東京証券取引所JASDAQスタンダード（2001年9月12日 上場）
1.株式会社プロトリオス
2.株式会社プロトデータセンター
3.株式会社プロトメディカルケア
4.株式会社バイクプロス
5.株式会社カークレド
6.株式会社キングスオート
7.株式会社オートウェイ
8.株式会社アイソリューションズ
9.PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd.
10.台湾寶路多股份有限公司
11.SMT Media Pte. Ltd.
12.PT. PROTO INDONESIA
（2014年10月31日現在）



月刊中古車通信 1977年創刊

1.株式会社プロトリオス	【2002年10月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）
2.株式会社プロトデータセンター	【2007年 4月設立】	（議決権所有割合：直接 100%）
3.株式会社プロトメディカルケア	【2009年10月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）
4.株式会社バイクプロス	【2010年 4月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）
5.株式会社カークレド	【2012年 2月設立】	（議決権所有割合：直接 100%）
6.株式会社キングスオート	【2012年 4月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）
7.株式会社オートウェイ	【2013年 4月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）
8.株式会社アイソリューションズ	【2014年10月子会社化】	（議決権所有割合：間接 100%）
9.PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd.	【2011年 9月子会社化】	（議決権所有割合：直接 100%）
10.台湾寶路多股份有限公司	【2011年12月設立】	（議決権所有割合：直接 100%）
11.SMT Media Pte. Ltd.	※清算手続き中【2011年 9月子会社化】	（議決権所有割合：間接 100%）
12.PT. PROTO INDONESIA	※清算手続き中【2012年12月設立】	（議決権所有割合：直接 75%、間接 25%）

■ Goo鑑定の拡販により、ユーザーがより安心・信頼してクルマ選びが出来る環境を整備する

Goo鑑定(鑑定証付き車両)



車両状態情報の開示

Goo鑑定の概要と図解(一例)

- フロントガラスの飛び石などによるキズをチェック
- ハンドルやダッシュボード、メーター類のチェックと同時に異臭やシートの汚れ、破れなども確認
- エンジンルームのオイルや冷却水の漏れのチェックに加え、異音などを確認
- アイドリング時やアクセル時にエンジンにカラカラ音などの異音が無いか確認
- トランスミッションの変速ショックの確認
- 骨格の修復歴を確認修復済みの場合、その程度もチェック
- リアトランクの下をチェックし、修理跡や波うちが無いかを確認
- パワーウィンドウが正常動作するかを確認
- マフラーの状態を確認異常音の有無や排気をチェック
- ピラーに修復跡が無いかを確認
- ボディのキズや塗装の状態を確認
- ホイールのキズやタイヤの溝をチェック
- 外装のキズや塗装の状態を確認
- 外板に隠れた骨格部分を徹底確認

Goo鑑定3つのポイント

Goo鑑定のポイント 1

第三者の鑑定師がチェック!

第三者機関の日本自動車鑑定協会(JAAA)の鑑定師が中古車を鑑定。プロが一台一台チェックします。

公正!

Goo鑑定のポイント 2

外装・内装・機関・修復歴について評価

外装・内装・機関・修復歴の4項目について鑑定を行っています。見た目からでは判断がつかない箇所も入念にチェックしています。

納得!

Goo鑑定のポイント 3

鑑定証付き

鑑定した外装、内装、機関、修復歴のそれぞれについて評価を定めます。もちろん改ざんがあれば鑑定証は発行されません。

分かりやすい!



ステップ 1 Goo鑑定車一覧ページ



一覧ページで、Goo鑑定付きの車両には、Goo鑑定車の表示がつけられています。

ステップ 2 Goo鑑定車詳細ページ



詳細ページからはGoo鑑定証(サンプル)を見ることができます。

ステップ 3 Goo鑑定証ページ



■ GooPLUSの拡販により、ユーザーがより安心・信頼してクルマ選びができる環境を整備する

GooPLUS

気になる7つのパーツが新品!

GooPLUS
グープラス

Goo鑑定車3つのポイント

- 1.中古車の状態を第三者機関のプロの鑑定師がチェック!
- 2.中古車の状態を隅々まで確認し、外装・内装・機関・修復歴を評価!
- 3.鑑定済のクルマには状態がわかる鑑定書が付きます!

エンジンオイル
エンジンを長持ちさせるには、エンジンオイルの交換は大切です。

バッテリー
エアコン・ヘッドライトの使用など、意外と酷使しています。

エアコンフィルター
エアコンのニオイもスッキリ! 長期間交換しないと燃費悪化や風量低下を招きます。

消臭
光触媒を使った消臭剤で車内清掃。気になるウィルスや菌も徹底分解で安心。

タイヤ
走る、曲がる、止まる。安全走行にはタイヤ点検は大切です。

オイルフィルター
エンジンの内部をキレイに保つには、定期的な交換を!

フロアマット
足元スッキリで快適ドライブ!

不安を解決! GooPLUS(グープラス)なら信頼・納得のGoo鑑定車に気になる7つのパーツが新品!

GooPLUSとは?

プロの鑑定師が中古車の車検状態を鑑定した“Goo鑑定車”に、さらに中古車を購入する際に気になる7つのパーツが、全て新品で付いてくるお得なパッケージです。対象パーツは全て新品で、すぐに交換の心配がないから安心してお乗り頂けます。

もちろん価格は車検本体価格に含まれているので安心です!!

GooPLUS(Goo鑑定+消耗品パッケージ)

中古車の安全性・快適性の改善

成約率の向上

■ 整備工場検索サービスの提供により、カーライフにおけるユーザー接点の拡大を推進する

GooPit(車検から車の修理・整備・点検まで、車整備専門店検索GooPit)

GooPit 東海 車検・オイル交換・キズ・ヘコミ
クルマのことならGooPit(グービット)

車検・点検 | オイル交換 | 修理・塗装・板金 | 持込み取付

GooPit3つのポイント

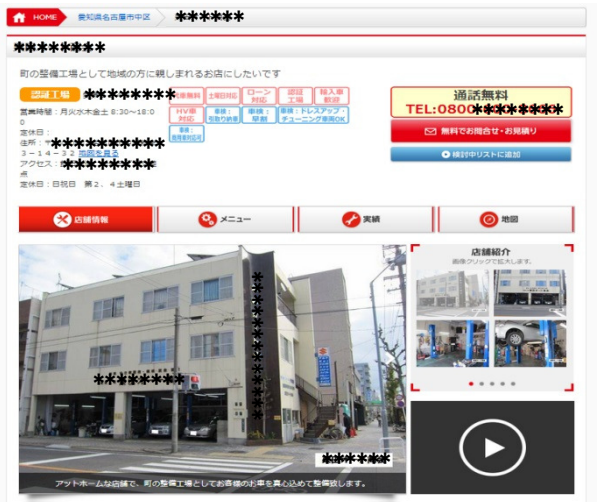
- POINT1 お近くの整備工場を手軽に検索!
- POINT2 東海地区の車検・整備情報を網羅!
- POINT3 充実した店舗情報で、細かな比較検討が可能!

車検・整備工場の検索ならGooPit!

メニューから整備工場を探す

車検 | 名古屋 | 尾張 | 三河 | 岐阜 | 三重

オイル交換 | 名古屋 | 尾張 | 三河 | 岐阜 | 三重

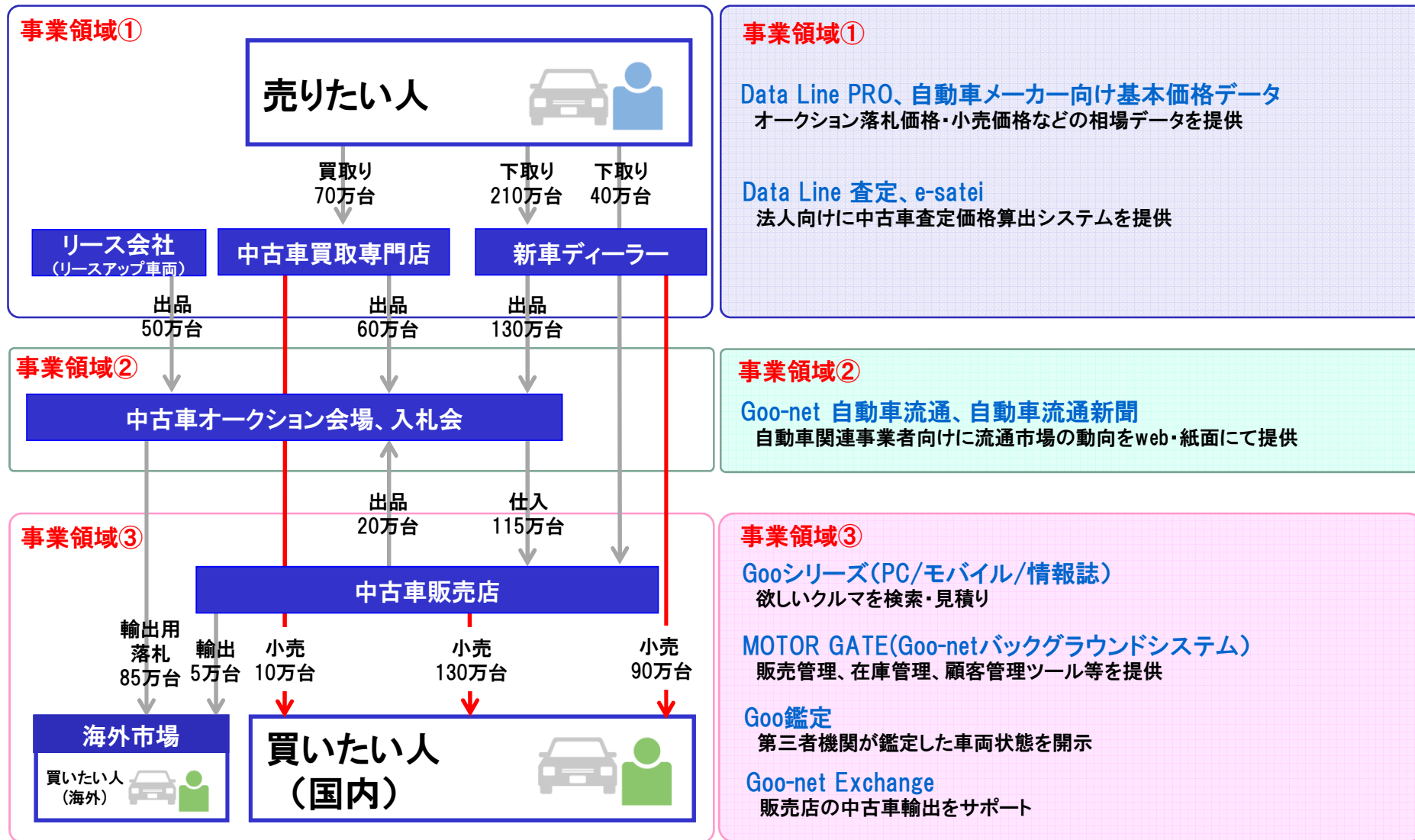


東海3県(愛知・岐阜・三重)において、2013年12月20日 サイトオープン
加盟工場から広告料を戴く 広告モデル

中古車の流通フローと当社グループの主な商品・サービス

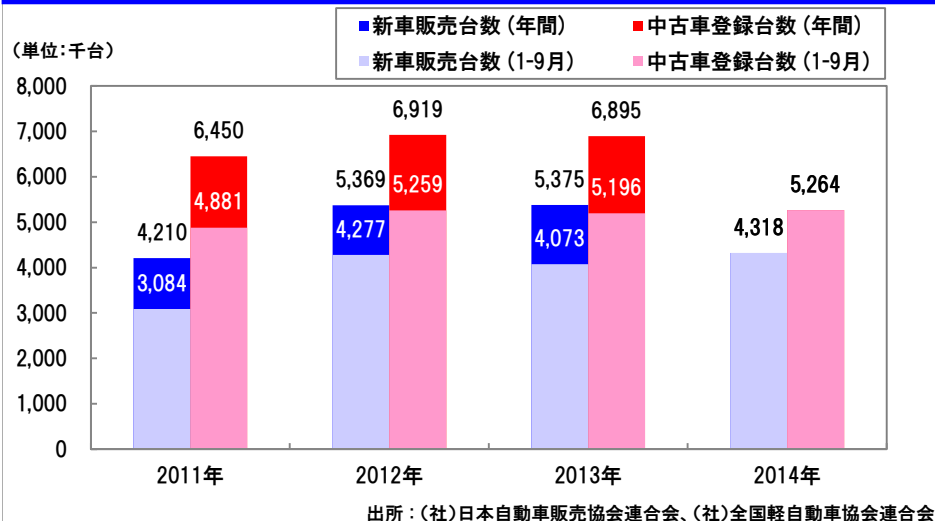


■ 中古車流通の上流から下流までを網羅し、ニーズに即した商品・サービスの開発・提供を推進



※(株)矢野経済研究所『中古車流通総覧 2012年版』を基に作成(2011年における中古車流通フロー)
 ※業販市場と中古車販売店の仕入販売台数は在庫替用の仕入販売台数を除く。 ※解体市場データ除く。

新車販売台数・中古車登録台数の推移(暦年ベース)



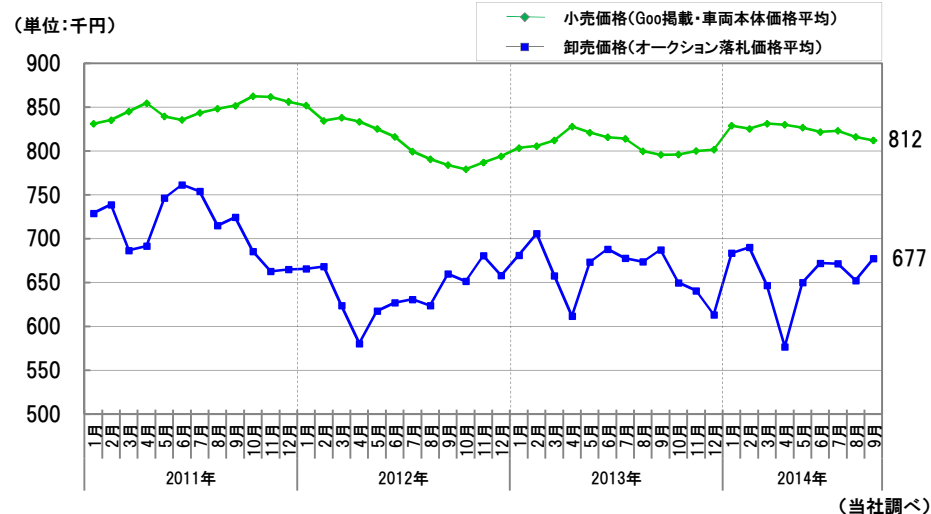
新車販売台数

2013年(1-12月累計)の新車販売台数は537万台となりました。
(前年同期対比100.1%)
2014年(1-9月累計)の新車販売台数は431万台となりました。
(前年同期対比106.0%)

中古車登録台数

2013年(1-12月累計)の中古車登録台数は689万台となりました。
(前年同期対比99.7%)
2014年(1-9月累計)の中古車登録台数は526万台となりました。
(前年同期対比101.3%)

中古車小売・卸売平均価格の推移



中古車の小売・卸売平均価格の推移

エコカー補助金の終了後、小売平均価格は80万円前後で推移しております。
また、卸売平均価格は65万円前後で推移しております。

【参考：エコカー補助金】

1.第1期：エコカー補助金

2009年4月10日～2010年9月7日：予算枠5,837億円、スクラップインセンティブあり

2.第2期：エコカー補助金

2011年12月20日～2012年9月21日：予算枠3,000億円、スクラップインセンティブなし

情報誌事業

情報登録・掲載料 (1)

課金体系: 1ページ当たりの広告掲載料

* 基本広告掲載料 (情報誌・PC・モバイルのセット販売)

情報提供料

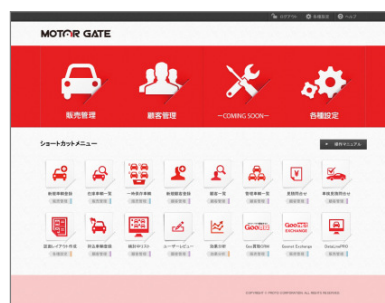
情報誌の販売



例) Goo首都圏版

ページ単価: 約7.3万円 ∴ 月2回広告掲載した場合(1P×2回)の基本広告掲載料: 約14万円

※平均顧客単価/月: 約22万円(2014年3月期実績)



MOTOR GATEの主な機能

販売管理機能

- ・新規車両登録
- ・在庫車両管理
- ・Goo-net掲載管理
- ・問合せ管理

データ分析機能 ・書類作成機能

- ・各種アクセス解析
- ・POP作成
- ・見積書作成
- ・登録申請書類作成
- ・陸送手配書類作成

顧客管理機能

- ・顧客情報管理
- ・商談管理
- ・車検情報管理
- ・任意保険管理
- ・顧客車両管理等

MOTOR GATE : Goo&Goo-netのバックグラウンドシステム (中古車販売店マネジメントシステム)

IT事業①

情報登録・掲載料 (2)

Goo-netのインターネットオプション (MOTOR GATE)

※ 本資料に記載の金額は、全て百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 将来予測について

本資料で提供されているIR情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。これら歴史的事実以外の情報は、当社グループが属する業界の競争、市場、諸制度に係るリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び推測に基づく見込みは、将来における実際の成果及び業績とは異なる場合があります。ご承知おきください。

■ お問い合わせ先

株式会社プロトコーポレーション

名古屋市中区葵一丁目23番14号

TEL 052-934-1519 FAX 052-934-1750

<http://www.proto-g.co.jp/>

4298ir@proto-g.co.jp

IR担当／経営企画室 鈴木、高林